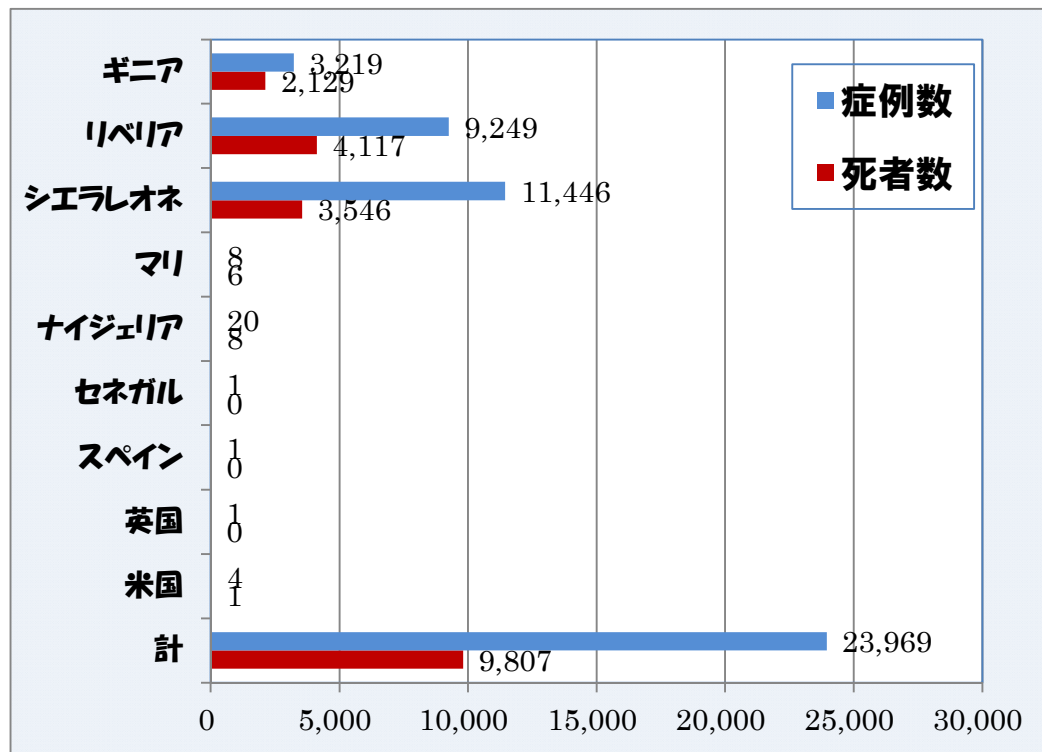


エボラ状況報告 Ebola Situation Report

2015年3月4日

原文：<http://apps.who.int/ebola/current-situation/ebola-situation-report-4-march-2015>

症例数（死者を含む）（2015年3月1日現在の情報）



概要

- 3月1日までの週で、合計132例の新規のエボラウイルス病 (EVD) 確定症例が報告（前週よりも99症例増加）。リベリアでは、今週、新規確定症例が報告なし（2014年5月26日以降では初めて）。シエラレオネとギニアの両国では、週単位の確定症例数が増加。シエラレオネでは広範囲な感染があり、3月1日までの週に8つの行政区域で新規確定症例が報告。ギニアのフォレカリア (Forecariah) 県とコナクリ (Conakry) 県（首都）では前の週と比べて症例数の著しい増加を報告。
- ギニアは、3月1日までの週で、51例の新規症例を報告（前週では35例）。登録された接触者から発生している症例は49%のみで、未知の感染源から発生継続中。7つの県で新規症例が報告され、西部にある3つの隣接する県からは多数の新規確定症例の報告あり（コナクリ県：17例、コヤ (Coyah) 県：5例、フォレカリア：23例）。また、4週間、新規確定症例を報告していなかった区域のマセンタ (Macenta) 県も、2例の確定症例を報告。コートジボワールに隣接する東部のローラ (Lola) 県では少数の感染が続いている。
- シエラレオネは、3月1日までの週で、8つの区域から81例の新規確定症例を報告。首都フリータウンのアバディーン (Aberdeen) 漁業共同体で以前に報告された症例の

集積は、他の区域へも発生を広げた（特に、ボンバリ（Bombali）地区では 22 例の新規確定症例が発生）。同期間中に、フリータウンでは 26 例の新規確定症例およびポートロコ（Port Loko）地区では 16 例の新規症例を報告。

- リベリアは、今週、新規確定症例を報告せず。モンロビア（Monrovia：首都）のポールブリッジ（Paul's Bridge）地区における最新の感染経路による接触者は、監視し続けられている。3月1日までの週で、全国でのEVDの検査による陽性例なし。
- ギニアとシエラレオネの地域で発生したEVDによる確定死亡例数は高率の状態で、早期の隔離と治療の必要性がまだ理解されていないか、受け入れられていないか、あるいは実施されていないことを示す。ギニアでは、3月1日までの週で、報告された確定例の半数以上（53%、21例のうち9例）の死亡例が地域で発生し、前週の42%（21例中9例）よりも増加。シエラレオネでは、3月1日までの週で、16%の確定症例の死亡例が地域で発生（前週では21%）。
- 依然として安全でない埋葬が実施されており、2月22日～3月1日までの週に、ギニアとシエラレオネの両国で16例あり。
- 3月1日までの週で、シエラレオネとギニアでの検査数はそれぞれ1,531検体と270検体。しかし、リベリアでは45検体であり、現在、リベリアでのサーベイランスは最適とは言えないことを示唆。
- 2015年2月25日～26日に、ギニア、マリおよびセネガルの代表者が会合し、国境での感染のリスクを考慮し、症例管理（検査資材の共有化を含む）、地域に密着したサーベイランス、リスクコミュニケーション、情報の共有化および国境通過時のスクリーニングに関して、国境での協力を強化することに合意。
- 3月1日までの週で、1例の新規医療従事者の感染例がギニアから報告があり、事例発生以降に最も多くの流行のあった3か国から報告された医療従事者の感染者の合計は839例になり、そのうち491例が死亡例。

滋賀県衛生科学センター内
健康危機管理情報センター（仮訳）